

令和5年度

社会福祉法人

慈 福 会

事 業 報 告 書

令和6年5月

目 次

㊦成南地域在宅サービスステーション「めぐみ」

成南地域総合相談窓口「めぐみ」・・・・・・・・・・ 1～3

居宅介護支援事業「めぐみ」・・・・・・・・・・ 4～5

デイサービスセンター「めぐみ」・・・・・・・・・・ 6～10

グループホーム「めぐみ苑」・・・・・・・・・・ 11～14

ヘルパーステーション「いこい」・・・・ 15～17

㊦天下茶屋地域在宅サービスステーション「のぞみ」

天下茶屋地域総合相談窓口「のぞみ」・・・・ 18～19

居宅介護支援事業「のぞみ」・・・・・・・・・・ 20～23

デイサービスセンター「のぞみ」・・・・・・・・・・ 24～26

事務局事務報告・・・・・・・・ 27～28

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 慈福会 めぐみ
成南地域 総合相談窓口（ランチ）

1 成南地域総合相談窓口（ランチ）専任職員

南部 順一（令和5年4月～令和6年3月）

2 年間活動実績

相談件数 964 件（訪問:685 電話:218 来所:61）

年度実人員 266名

会議参加 68 件

外部研修 7 件

3 主催事業

・めぐみ喫茶

毎月第3金曜日 13:00～14:30

・百歳体操と健康教室

毎月月曜日 13:00～14:30

4 相談業務内容

総合相談業務

【専門的継続的相談支援】

- ① 病院で介護保険新規申請を行うが退院後本人が電話に出ず、認定調査ができないという相談を受ける。訪問し認定調査日をお伝えするが、退院後の医療受診が滞り呼吸が困難な状態。日々の買物にも支障があり、エアコンのリモコンも紛失し暖房も付けていない。課題が山積している状況の中で、水分補給の維持・栄養の摂取・医療受診及び年末年始時のレスパイト入院等本人の意向に沿いながら支援体制を構築した。
- ② 介護保険サービス利用後も、高齢者や地域住民及び関係機関から定期的に情報収集を行い、課題解決が継続できているかどうか評価を実施。生活保護を受けている高齢者で突然以前の借金の督促状が届いたという相談を受ける。ケースワーカーと連携を取りながら法テラスによる自己破産手続に同行し申請。現在も進行中。

【介護予防高齢者の把握と支援】

- ① 百歳体操と共に健康教室を継続開催。ボランティア（理学療法士・看護師）によるスポーツボールを使った体操によって地域住民の身体状況の現状を把握しながら、コロナ後の身体機能の低下を改善できたケースが3件あった。
- ② 地域行事に参加して、地域住民の身体状況及び生活状況の把握に努めた。

【認知症高齢者の支援体制の構築】

- ① 認知症状のある高齢者のケースで、金融機関、配偶者の施設、近隣住民からの相談が連続したので地域ケア会議を開催。介護保険サービス拒否、地域住民関わり拒否等問題が山積する中でどのような支援をしていくか情報交換を実施。甥や姪も関わりたくないという状況下で今後の生活支援体制の意見交換を行った。
- ② 認知症状のある高齢者のケースで、地域住民の協力で電話かけや声かけでランチ主催の喫茶に参加が開始。本人が不穏な時は長男の嫁も付き添って下さり、喫茶参加が継続しているケースがある。

実態把握業務

【実態把握後の状況】

（ 見守り訪問・定期訪問 ）

・関係機関から見守りの依頼を受けるが、地域では定期的な医療受診をしていない男性高齢者が多く、年末入院調整が必要なケースが3件あった。

（ グループホーム運営推進会議 ）

・今までの運営推進会議では地域住民の参加がなかった。コロナ後、地域住民の参加を提案。ランチが連絡調整を図り、民生委員の方の参加が達成できた。

【地域との関係づくり】

（ 百歳体操 ）

・介護予防の観点で健康教室を継続。多くの参加者が自宅でもボール体操がしたいという要望が上がる。自宅でできる体操を紹介すると共に、ボールの購入手配を援助した。

・高齢者虐待の情報冊子を配布し、地域からの情報提供を周知。

（ 千本食事会 ）

・総合相談窓口（ランチ）の印刷物を配布。周知活動に努めた。

・男性高齢者に食事会参加を提案。体験まで進めたが住所が変わり参加不可になった。

（ めぐみ喫茶 ）

・地域住民の電話かけや声かけによって認知症高齢者の参加が開始。本人不穏な時は御家族も参加して頂きながら、毎月参加が継続している。

・地域住民との交流を通して、地域の情報収集及び地域の現状把握に努めた。

権利擁護業務

【成年後見制度に関する実施状況】

- ① 保佐人と共に独居高齢者宅を訪問。毎月の生活費支給と共に、生活上の課題（隣人宅に伸びた植木の苦情・トラックによる外壁破損）を協働で取り組むことができた。
- ② 判断能力が著しく低下している夫婦（夫は施設・妻は在宅・子供なし）について地域ケア会議を開催。関係機関と連携しながら、妻に対して市長申し立てが開始となった。

【虐待に関する実施状況】

周知活動として、百歳体操で高齢者虐待情報冊子を配布。相談機関を紹介した。

主催事業

【 めぐみ喫茶 】

日時 毎月第3金曜日 13:00～14:30

場所 社会福祉法人 慈福会 めぐみ 3階会議室

内容 飲み物とおやつの提供

対象 千本地域住民及び周辺地域住民

職員体制 社会福祉法人慈福会めぐみ職員 ブランチ職員

目的

- ① 地域住民に外出する機会、交流する場の提供
- ② 総合相談窓口（ブランチ）の周知活動及び地域高齢者の現状把握
- ③ 認知症・精神疾患・閉じこもり等、複合的な困難をかかえた高齢者及び家族に参加をよびかけ、喫茶参加者と共に生活支援体制を構築する

【 百歳体操 & 健康教室 】 ★予約制

日時 月曜日 13:00～14:30 組分けによる月2回の参加

場所 社会福祉法人 慈福会めぐみ 3階会議室

内容 百歳体操 リハビリ体操 脳トレ体操 レクリエーション

対象 千本地域住民及び周辺地域住民

職員体制 講師（理学療法士） ボランティア ブランチ職員

目的

- ① 地域住民に外出する機会・運動する機会・交流の場の提供
- ② 健康教室を開催し、介護予防を図る
- ③ リハビリ体操・脳トレ体操を紹介し、自宅での継続を図る

➤ 居宅介護支援事業 めぐみ 令和 5 年度 事業報告

(1) 職員及び担当件数状況 (令和 6 年 3 月 31 日現在)

介護支援専門員 (1 名)		
職員名	重田 昌也	
介護給付 (件)	31 件	件
予防給付 (件)	14 件	件

- ・介護支援専門員体制 1 名 (常勤・兼務 1 名、常勤・専従 名)
重田 昌也 (居宅管理者兼介護支援専門員)

(2) 職員外部研修受講状況

令和 5 年度は、主任介護支援専門員の更新研修を受講するために必要な法定外研修を年間 9 回受講する。

(3) 各連絡会・勉強会参加状況

令和 5 年度、業務が忙しく、なかなか時間が作れず連絡会・勉強会に参加することが出来なかった。

(4) 指導及び監査等

日 時	内 容	出席者名
令和 5 年 ※ 8 月 12 日	大阪市集団指導	重田 昌也
令和 6 年 令 2 月 13 日	大阪市運営指導	重田 昌也

和

令和 5 年度も大阪市福祉局の公式 Y o u T u b e 視聴とアンケート報告で集団指導への参加となる。

(5) 介護サービス情報の公表 (令和 5 年度分)

令和 5 年度 報告のみ (令和 5 年 10 月 21 日 提出)

(6) 特定事業所集中減算状況

※ 特定事業所集中減算については、紹介率が80%を超えると減算の対象になるが、令和5年度前期・後期ともに減算対象になることはなかった。

(7) 居宅介護支援介護給付費月次推移表

年・月	介護給付		予防給付	
	件	円	件	円
令和5年4月	32 件	415,100 円	11 件	47,146 円
令和5年5月	31 件	399,555 円	11 件	47,146 円
令和5年6月	30 件	387,590 円	12 件	55,669 円
令和5年7月	30 件	387,590 円	12 件	51,432 円
令和5年8月	28 件	360,080 円	12 件	55,669 円
令和5年9月	29 件	379,205 円	13 件	59,955 円
令和5年10月	27 件	351,695 円	16 件	72,813 円
令和5年11月	29 件	382,785 円	14 件	60,004 円
令和5年12月	30 件	401,666 円	14 件	60,004 円
令和6年1月	29 件	386,365 円	13 件	55,718 円
令和6年2月	30 件	301,170 円	13 件	55,718 円
令和6年3月	29 件	386,365 円	14 件	68,527 円
計	354 件	4,539,166 円	155 件	689,801 円

(8) まとめ

- ・令和5年度も介護支援専門員の募集を続けるが応募がなく、介護支援専門員1名体制のままでの運営となった。地域包括支援センター等より新規の問い合わせがあるが、受け入れが出来ない状況のため、早急に介護支援専門員2名体制にして運営ができるように努めていきたい。
- ・令和5年度も行政や地域包括、医療機関、サービス事業所や地域の各種団体等と連携や協力を図りながら適正な事業運営を行ってきた。令和6年度、行政や地域包括、医療機関、サービス事業所や地域の各種団体と連携を図りながら、適正な事業運営ができるように努めていきたい。

➤ デイサービスセンター めぐみ 令和5年度 事業報告書

令和5年度 年間目標と評価

目 標	評 価
利用者の確保	今年度に入ってから登録利用者数は増えていたが、年明けに入院・入所が重なってしまい、最終平均15.4名となった。 昨年度に比べると一日約2名の増加である。 引き続き営業活動にも力を入れていけるような工夫が必要。
感染症対策	今年度も換気・手指の消毒・検温等を行い、感染症の拡大は見られなかった。マスク着用の下、クリアボードを外して利用者間の交流を取りやすくしていきたい。
職員の質の向上	職員同士の会話や業務の優先、複数人での同じ動きなどの変化はあまり見られなかった。 内部・外部の研修を積極的に行い、質の向上を目指したい。
機能訓練の見直し	大半の方が機能訓練に参加出来ている。 集団での機能訓練に参加されない方も入浴やトイレのタイミングで少しずつ取り組めるよう工夫している。 個別での機能訓練にも引き続き声掛けしていく。
行事・レクリエーションの見直し	行事は新しい試みも好評なものが多く、今後も定番の行事に加えていけそうなものもあった。 レクリエーションは同じようなものが多かったので、もう少し工夫してより多くの利用者様が参加できるようにしていきたい。

デイサービス利用者月次推移状況

月・ 要介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成 比(%)
要支1	0	0	1	5	1	0	0	0	0	1	0	0	8	0.1
要支2	26	28	26	26	28	25	26	24	26	24	17	22	298	6.6
要介1	59	63	74	68	67	69	46	44	45	40	39	54	668	14.8
要介2	101	106	99	109	94	77	77	82	68	58	48	40	959	21.3
要介3	71	80	97	101	120	144	176	135	150	119	111	126	1430	31.7
要介4	46	54	54	45	37	41	39	33	39	36	40	49	513	11.4
要介5	22	37	45	43	42	59	55	67	65	59	60	62	616	13.6
おためし	4	2	2	1	2	0	1	1	4	1	2	0	20	0.5
延 数	329	370	398	398	391	415	420	386	397	338	317	353	4512	100.0
日数	24	24	26	25	25	24	25	24	24	23	23	26	293	
月平均	13.7	15.4	15.3	15.9	15.6	17.3	16.8	16.1	16.5	14.7	13.8	13.6	15.4	

行事实施状況

月	行事内容	内 容 と 評 価	費用(円)	担当
4月	お花見	めぐみの桜前にて希望者のみ写真撮影。おやつは2種類用意し、前半と後半に分けた。天候も良く、喜ばれている。	2,677円	糸洲
5月	紙芝居	子供のころに楽しめた紙芝居を、ボン菓子を食べながら鑑賞して頂く。改善点はあったが楽しんで頂けた。	1,310円	川合
6月	わらび餅	恒例の手作りわらび餅を提供。きな粉で咽ることもなく、おかわりされる方が多数で好評だった。	792円	東野
7月	ボッチャ	普段レクリエーションに参加されない方も参加され、活気ある行事だった。	645円	稲福
8月	あずきかん	涼しげな見た目とのど越しの良さで好評だった。	2,596円	東野
9月	敬老会	クイズとゲームで楽しんで頂く。昨年、自分宛てに書いた手紙を渡し、新たに来年の自分宛てに書いていただいた。	933円	川合
10月	たこ焼き	手作りのたこ焼きを提供。食欲をそそる匂いも加わり、おかわりされる方が多く、大好評だった。	3,991円	稲福
11月	喫茶会	季節感のあるスイートポテトを、ワッフルを添えて提供する。食べやすく好評だった。	3,307円	川合
12月	クリスマス会	職員のギター演奏に合わせて歌を歌ったり、パバロアを食べて頂く。靴下のプレゼントあり。サンタのコスプレでの写真撮影。おおむね好評であった。	6,242円	東野
1月	足湯	入浴剤入りの足湯で温まって頂く。浴後のマッサージもあり大変好評だった。	0円	稲福
2月	厄除けぜんざい	手作りぜんざいと鬼の的当てゲームを行う。どちらも楽しんで頂けた。	2,654円	川合
3月	ひな祭り	ひな人形と写真撮影。ホットカルピスとマンゴープリンを提供する。職員のギター演奏有。好評だった。	535円	東野
計		(予算：¥ 73,000円)	¥ 25,682円	

職員外部研修受講状況

研修日	研 修 内 容	受講者名
6月16日	認知症の人への虐待を防止するために	川合
7月4日	実践型リスクマネジメント研修会	植野
12月14日	福祉・介護サービス従事者に求められる職業倫理	川合
12月20日	大阪市社会福祉職員人権研修	糸洲
2月20日	認知症のためのリハビリテーション	植野

介護報酬・行事費・おやつ代月次推移表

月	介護報酬 (万円)	行事費用 (円)	おやつ代 (円)
4 月	2,758,508 円	2,677 円	5,189 円
5 月	3,026,311 円	1,310 円	4,590 円
6 月	3,384,571 円	792 円	5,548 円
7 月	3,441,130 円	645 円	4,980 円
8 月	3,107,451 円	2,596 円	5,767 円
9 月	3,374,623 円	933 円	0 円
10 月	4,186,244 円	3,991 円	6,603 円
11 月	3,327,755 円	3,307 円	1,177 円
12 月	3,325,977 円	6,242 円	4,075 円
1 月	3,188,031 円	0 円	3,996 円
2 月	2,799,197 円	2,654 円	4,852 円
3 月	3,083,527 円	535 円	4,791 円
合計	39,003,325 円	25,682 円	51,568 円
平均	3,250,277 円	2,140 円	4,297 円

職員状況 (令和 6 年 3 月末現在)

職 種	常 勤	非常勤
管理者	糸洲 安芸子 (兼務)	
看護師	植野 美恵	廣田 美穂
	仲辻 美保	
生活相談員	糸洲 安芸子 (兼務)	
	稲福 麻子 (兼務)	
介護職員	稲福 麻子 (兼務)	石田 美和
	川合 純子	東野 正嗣
(計)	5 名	3 名

ボランティア・実習

ボランティア			
		コロナ感染予防の為、受け入れなし	
職場体験実習			
11 月 16 日・17 日	大阪市立成南中学校	2 名	

ヒヤリ・ハット・事故状況

日 付	内 容
5 月 15 日	U 氏、湯船に浸かる際、車輪側に患側を固定してしまう。
6 月 14 日	手指用の消毒スプレーと掃除用（ハイター）スプレーを間違えて利用者の手指にかけてしまう。
6 月 22 日	O 氏、機能訓練の階段昇降で段につまずき膝をつかれる。
7 月 18 日	I 氏、非接触体温計と手指消毒用スプレーを間違え、顔に消毒液をかけてしまう。
7 月 27 日	M 氏、一人でデイルームから出て行ってしまう。デイ職員は気付かず、他部署の職員が発見する。
7 月 31 日	U 氏、トイレにて自力で移乗されていたが、失敗され尻もちをついてしまう。
8 月 21 日	S 氏、立ち上がりの際にバランスを崩し、後方に転倒する。
1 月 30 日	F 氏、フロア内で他者の歩行器に足が引っかかり転倒、右肩を骨折する。
2 月 17 日	O 氏、送迎時に車いすの背もたれを畳んだまま走行する。

水質検査結果報告

令和 5 年 6 月 6 日実施		異常なし
令和 5 年 12 月 5 日実施		異常なし
公衆浴場における水質基準等に関する指針の定めを通り下記、検査項目・検査方法により年 2 回の水質検査を実施いたしました。		
浴槽水試験項目	検査方法	検査業者名
レジオネラ	冷却遠心濃縮法（検出限界 10CFU/100ml）	登録衛生検査所 株式会社中央微生物検査所
有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）	平成 4 年度厚生省令第 69 号（滴定法）	
大腸菌群	昭和 37 年厚生省令・建設省令第一号別表第一	
濁度	平成 4 年厚生省令第 69 号（積分球式光電光度法）	

消防訓練

消防法の定めるところにより、下記の通り年2回以上の自衛消防（自主）訓練を実施いたしました。		
令和5年 11月 8日実施	18名参加（職員・教養型）	大阪市西成消防署報告済み
令和6年 3月 21日実施	17名参加（職員・利用者）	
成果	・火災時における基本的な対応と避難の流れの確認 ・利用者様（高齢者）の避難訓練 ・火災時の職員の心構え、役割のチェック ・避難路の安全点検・消火器の設置位置や防火扉の再確認 ・初期消火の重要性。消火器の使用方法的説明 ・119通報（自動通報装置の使用方法的確認） ・あべの防災センターの案内等々	

➤ グループホームめぐみ苑 令和5年度 事業報告書

(1) 令和5年度の目標に対する評価

目 標	評 価
入居者様の声や希望を拾い上げ、当苑のモットーである「入居者様が好きな事を、好きな時に好きなだけ出来るように努めます。」を実現できるように取り組む。	入居者様に好評の外食行事ですが、コロナ禍の為お店には行けていませんが、お寿司等のデリバリーを利用し苑では食べる機会の少ない料理を提供したり、季節にちなんだお菓子や行事を行い入居者様に季節感を感じて頂けるように工夫しました。入居者様に日々の生活を穏やかに安心して暮らしていただけるように、入居者様や家族様は勿論、職員間でもコミュニケーションを大切にし、ケアプランに反映していけるように努めています。
認知症対応型施設として専門性の高いサービスを提供する。	コロナの影響でインターネットを利用した講習が多く、ほぼ研修に参加が出来ていない。施設内の勉強会や会議の時に話をするが高齢者の疾病や認知症にも関する知識（精神疾患や薬等）にバラツキや知識不足を感じる。継続して内部・外部の研修を増やせるように図り、職員の知識の向上と意識を高く保てるように努める。
地域に根ざした開かれたグループホームを目指す。	今年度もコロナ禍の為、書類のみとなり会議は出来なかった。来年度はコロナ対策が緩和される予定なので会議を行い交流ができるように図っていきたい。
安全な環境作りを行い防犯意識を日頃から高める。	定期的に全館総合の避難訓練やグループホームのみの避難訓練を行っている。また、入居者様に事故なく安全に暮らしていただける様に月に1度、居室やフロアー内の環境整備を行い見直しをしている。
感染症の予防・対策。	職員は出勤前に体温測定を行い不織布マスク着用で出勤している。勤務中は手洗い・手指消毒の徹底と、定期的な換気と消毒を行っている。入居者様が過ごすテーブルにはアクリルボードを置き、可能な限り入居者様にも不織布マスクの着用してもらっている。

(2) 職員研修受講状況

研 修 日	研 修 内 容	受講者
5月	身体拘束の事例	全員
7月	介護施設における感染症の発生に対する具体的対応	全員
8月	BCPについて	全員
9月	スピーチロックと心理的虐待	全員
11月	介護施設における感染症の発生に対する具体的対応(冬季に流行する感染症)	全員
12月	介護施設の事故と実態と対策	全員
1月	身体拘束ゼロの手引き	全員
2月	津波想定避難について (BCP)	全員
3月	人権について	全員

(3) 行事報告

月	行 事	内 容 と 評 価
4月	お花見	お寿司(鮭やサーモン、いなり寿司や玉子を中心)と茶碗蒸しをテイクアウトし入居者様に提供し、おやつを苑庭の桜を鑑賞しながら「桜餅」を食される。
5月	節句	端午の節句があったので、おやつに「柏餅」を提供しました。
7月	外食行事	入居者様からリクエストの多いくら寿司に外食に行きました。海鮮ちらし寿司や茶わん蒸し等、入居者様が好きな物を注文されました。
8月	納涼祭	苑内で職員と入居者様のみで納涼祭を開催しました。フロアー内を提灯で飾り付けし、お菓子釣りのゲームや焼きそば、クリームあんみつ等を提供しました。
9月	敬老祝賀会	仕出し弁当を注文しました。おかずの種類も多く入居者様も満足していただきました。おやつに上用饅頭を提供しています。
10月	外食行事	7月に続いてかつば寿司に行きました。普段、食べる機会が少ない為、入居者様に喜んでいただきました。
12月	クリスマス会 忘年会	昼食に職員が手作りで「クリームシチュー」「海老ピラフ」「オムレツ」「彩サラダ」を作って提供しボリュームを出しています。おやつは「苺のショートケーキ」を提供し、ビンゴ大会を開催しました。

1月	お正月	昼食には毎年恒例のお鍋「寄せ鍋」と「焼き肉」を提供し、夕食は「お節」や「赤飯」「混ぜご飯」を提供しています。
2月	節分	新聞紙を丸めたボールで豆まきをし、おやつに厄除け饅頭とぜんざいを提供しています。
3月	桃の節句	女性入居者と一緒にエレベーター前のお雛様を鑑賞しに行き、おやつに三色団子を提供しています。
全体評価	コロナウイルス感染症の規制が緩和されたので、今年は外食行事を復活させ「食」を楽しんでいただく事ができました。コロナウイルス感染症が緩和されたとはいえ、気軽に外出をする事が難しいので、入居者様が楽しみにされている食事に関して工夫していきたいと思えます。	

(4) 入所者状況（3月末日現在）

性 別		要 介 護 度	
女性	2名	要介護1	5名
男性	7名	要介護2	2名
合計	9名	要介護4	1名
		要介護5	1名

(5) ヒヤリ・ハット報告

区分	日	時	内 容	処 置 対 応
男性 女性	4月4日	12時頃	入居者様同士が口論になる。	職員が間に入り仲裁する。
男性	7月26日	14時頃	椅子から立ち上がる時にふらついた。	職員が支え介助した。
男性	7月28日	17時頃	歩行時にふらつき、転倒しそうになった。	職員が支え介助した。
男性	7月15日	11時頃	車椅子で自走し居室に戻られる。	居室の扉に開くと鳴るにブザーを付ける。
男性	8月9日	10時頃	入浴時に、ボディソープの泡で滑った。	職員が支え介助した。

男性	8月19日	22時頃	ベットから足がはみ出し滑り落ちそうだった。	ベットの高さは1番、低くしてセンサーマットを設置する。
1男性 2名	12月10日	15時	入居者様同士が口論になる。	職員が間に入り仲裁する。

(6) 事故報告

区分	日	時	内 容	処 置 対 応
男性	4月3日	6時頃	無断外出される。	職員が周辺を捜索し発見される。
男性	4月9日	11時頃	本来ならばしなくても良い処置をする。(坐薬の挿肛)	痛みの有無の確認、バイタル測定し経過観察し主治医に報告する。
男性	5月2日	20時前	自室内で転倒してるのを発見する。	痛みの有無の確認、内出血の有無、バイタル測定をし経過観察する。
男性	7月13日	8時頃	無断外出する。	職員が苑を出ようとしているところを発見する。
男性	8月8日	9時前	ベットから滑り落ちてる本氏を発見する。	痛みの有無の確認、バイタル測定し経過観察する。
男性	8月13日	10時頃	ベットから滑り落ちてる本氏を発見する。	痛みの有無の確認、バイタル測定し経過観察する。
男性	8月14日	11時頃	ベットから滑り落ちてる本氏を発見する。	痛みの有無の確認、バイタル測定し経過観察する。
男性	9月21日	17時頃	フローア内に薬が落ちてるのを発見する	直ぐに服薬し経過観察する。
男性	12月10日	12時前	薬箱に薬が残っていた。	直ぐに服薬してもらう。
男性	2月9日	16時頃	便秘薬の服薬を忘れる。	次の日に服薬する

➤ ヘルパーステーション いこい 令和5年度 事業報告書

(1) 令和5年度の目標に対する評価

目 標	評 価
※利用者、売上金額の増加	利用者、売上金額 共に目標に達せず
ヘルパーのスキルアップ	6/10 土) 事業所にて研修 利用者について意見交換会 コロナウイルス感染時の対応について・
※常勤・非常勤ヘルパーの確保	常勤 2名採用 (内1名事務職) 1名退職 非常勤 2名採用 3名退職 非常勤 (パート含め) 採用なし

(2) 職員研修受講状況

研 修 日	研 修 内 容	受講者
6月22日	2類から5類なってどうなるの？	木村
6月26日	認知症の疾患別特徴と対応のポイント	木村

(3) 苦情報告

日 付	苦 情 内 容	対応者	対 応 結 果
9月4日	買い物時商品が傾いたまま持って帰ってくる	木村	H・H 確認・変更
10月11日	希望の商品がないと言いついてこなかった	木村	H・H 確認・変更
12月22日	高齢のヘルパーばかりよこす。	木村	CM 連絡確認・中止

(4) 介護サービス情報の公表

指定調査機関	介護サービス情報公表センター
報告の提出期限	令和5年10月27日
訪問調査日	
公 表 日	令和5年10月20日
更 新 日	

(5) 利用者要介護度別月次推移表

区分 月	要 支 援		要 介 護					利用 者 合計 数	新 規	中 止
	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5			
4月	7	5	10	12	3	4	1	42	2	1
5月	6	5	10	12	4	3	1	41	0	1
6月	6	4	10	12	4	4	1	41	0	0
7月	6	4	10	14	5	5	1	45	0	1
8月	6	4	8	13	4	5	1	41	0	2
9月	5	6	8	12	5	3	1	40	1	1
10月	5	6	9	12	5	3	2	42	0	0
11月	5	6	8	12	5	3	2	41	0	1
12月	5	5	12	11	5	3	2	43	2	4
1月	3	5	11	10	4	3	2	38	0	1
2月	3	6	10	10	6	3	2	40	1	0
3月	2	6	8	9	6	3	2	36	0	0
計										
比 率 (%)										

※ (新規・中止は、要支援1・要支援2・要介護に変更になった利用者も含む)

※ 利用者様 要介護度別グラフ (構成比率)

(6) 介護報酬月次推移表

月	介護報酬 (万円)	月	介護報酬 (万円)
4月	204.9 万円	10月	276.7 万円
5月	267.6 万円	11月	234.2 万円
6月	241.3 万円	12月	252.0 万円
7月	284.6 万円	1月	227.5 万円
8月	241.5 万円	2月	230.2 万円
9月	256.9 万円	3月	万円
		合計	万円

(7) 職員状況 (令和6年3月現在)

雇用	職 務	氏 名	資 格
常勤	所長	永田 明彦	ヘルパー1級
	サービス提供責任者		
	管理者	木村 麻由美	介護福祉士・ヘルパー2級
	サービス提供責任者 (兼務)		
	訪問介護員	中川 幸枝	ヘルパー1級
	事務職員	足立 愛子	
計	(4名)		

雇用	職 務	氏 名	資 格
非常勤	訪問介護員 (登録)	竹下 愛子	ヘルパー2級
	訪問介護員 (登録)	子浦 かめよ	ヘルパー2級
	訪問介護員 (パート)	津島 亜矢子	介護福祉士・ヘルパー2級
	訪問介護員 (登録)	吉崎 みさゑ	ヘルパー2級
計	(4名)		

II 天下茶屋地域在宅サービスステーション のぞみ

▶ 在宅介護支援センター事業のぞみ 令和5年度 事業報告書

(1) 在宅介護支援センター専任職員

氏名 谷口 正臣

(2) 年間相談活動実績 (R6.4.1 現在)

相 談 内 容	相談件数
経済・生活問題	494 件
福祉サービスに関する事	5 件
保健・医療サービスに関する事	73 件
介護サービスに関する事	156 件
生きがいづくり	57 件
その他	5 件
(相談合計件数)	790 件
(相談実人員)	120 人

(3) 相談方法

1)訪問	374 件
2)電話	304 件
3)来所	61 件
4)その他	51 件

(4) 介護予防普及のための教室・講演会

名 称	対 象	実施回数
いきいき百歳体操 (主催)	地域高齢者、ネットワーク委員、西成区社協 生活支援コーディネーター、東部地域包括支援センター、天下茶屋ランチ	38 回
男の足湯のぞみ屋 (主催)	地域高齢者、地域ボランティア、西成区社協 生活支援コーディネーター、東部地域包括支援センター、天下茶屋ランチ	12 回
東部包括フリースクール (共催)	地域高齢者、西成区社協 生活支援コーディネーター、見守り相談室、西成区オレンジチーム、東部地域包括支援センター、山王ランチ、天下茶屋ランチ	10 回

いきいき元気教室 (参加)	地域高齢者、ネットワーク委員、西成区社協、東部地域包括支援センター、天下茶屋ランチ	11回
------------------	---	-----

(5) 大阪市ひとり暮らし等高齢者支援事業

0件 登録

(6) 勉強会・連絡会・在介啓発活動等

包括・ランチ連絡会議 11回	ネットワーク委員会の会合 2回	民生委員協議会 1回
ぽっと！ネット西成連絡会議 3回	地域ケア会議 3回	地域ケア会議以外の個別ケース会議 0回
西成区地域包括支援センター 運営協議会 3回		

(7) ブランチ必須研修受講状況

研修日	研 修 内 容
R5.8.22	地域ケア会議の効果的展開
R5.9.27	認知症対応力向上研修～今さら聞けない後見制度
R5.10.4	高齢者虐待対応中堅期研修
R5.11.18	精神疾患のある人への理解と支援
R5.12.15	西成の ACP を多職種で考える
R6.2.21	相談支援機関の連携・協働のための研修
R6.2.27	成年後見制度利用促進研修 基礎編
R6.3.18	成年後見制度利用促進研修 応用編

(8) まとめ

- ・総合相談を地域包括支援センター、病院関係者、地域住民、大家さん、区役所の CW さん、居宅支援事業所等からいただくことができた。区役所からの相談が減少したが、CW さんとの顔の見える関係を大事にしながら、相談窓口としての役割を果たしていきたい。
- ・困難ケースについては、関係機関と連携し対応することができたが、ランチが単独で対応する場合もあり、関係機関との役割分担を明確にしながら、すすめていきたい。
- ・ランチ主催の「いきいき百歳体操」「男の足湯」を可能な限り開催した。参加人数は昨年度と変わらなかったが、より多くの方々に参加してもらえるようにしていきたい。また東部包括との共催である「東部包括フリースクール」の運営にも積極的に協力した。

➤ 居宅介護支援事業 のぞみ 令和5年度 事業報告書

(1) 職員及び担当件数状況 (R5.3.31 現在)

介護支援専門員 (2 名)			
職員名	津島 礼司	谷川 裕実	
介護給付 (件) 58 件中	30 件	28 件	
予防給付 (件) 20 件中	9 件	11 件	

(2) 居宅介護支援介護給付費月次推移表 (※は見込み)

年・月	介護給付		予防給付	
	件	円	件	円
R5年4月	52 件	708,480 円	24 件	102,864 円
R5年5月	53 件	719,821 円	24 件	107,101 円
R5年6月	60 件	809,136 円	24 件	102,864 円
R5年7月	60 件	822,968 円	23 件	98,578 円
R5年8月	53 件	725,381 円	24 件	102,864 円
R5年9月	58 件	791,878 円	23 件	94,292 円
R5年10月	67 件	940,679 円	21 件	90,006 円
R5年11月	59 件	799,015 円	21 件	90,006 円
R5年12月	60 件	810,736 円	21 件	90,006 円
R6年1月	56 件	748,800 円	20 件	85,720 円
R6年2月	60 件	823,456 円	20 件	85,720 円
※R6年3月	58 件	790,142 円	20 件	85,720 円
計	696 件	9,490,492 円	265 件	1,135,741 円

(3) 利用契約者数の状況

年 月	新規契約 () は 予防	予防給付へ 移行 (原案作成)	契 約 終 了			
			利用中止	居宅介護 支援事業者 等変更	転居・施設等 入所・長期 入院	死 亡
R5年4月	0 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
R5年5月	0 (0)	0	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)
R5年6月	2 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
R5年7月	2 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
R5年8月	1 (0)	0	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
R5年9月	4 (0)	0	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)
R5年10月	1 (0)	0	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
R5年11月	0 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
R5年12月	1 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
R6年1月	0 (0)	0	0 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
R6年2月	0 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
R6年3月	1 (0)	0	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
合 計	12 (0)	0	0 (1)	1 (1)	4 (0)	7 (0)

(4) 職員外部研修受講状況

日 時	研修内容	受講者名
R5年6月6日 ～ R5年9月29日	介護支援専門員更新研修 専門研修課程Ⅱ 合計8日間 (eラーニング研修1日、会場での研修7日)	谷川 裕実
R5年10月4日 ～ R6年3月5日	主任介護支援専門員研修 合計12日間 (eラーニング研修3日、会場での研修9日)	津島 礼司
R5年10月6日 ～ R6年3月6日	主任介護支援専門員研修 合計8日間 (eラーニング研修3日、会場での研修9日)	谷川 裕実
R5年11月6日 ～ R6年3月22日	介護支援専門員更新研修 専門研修課程Ⅱ 合計8日間 (eラーニング研修1日、会場での研修7日)	津島 礼司
R6年3月22日	認知症ケアのアセスメント	谷川 裕実

(5) 各連絡会・勉強会参加状況

日 時	勉強会等内容	出席者名
R6 年 1 月 31 日	自立支援型ケアマネジメント検討会議	谷川 裕実
R5 年 2 月 13 日	ケアマネ・ケースワーカー合同研修会 ① ケースワーカーの仕事について ② ケアマネージャーの仕事について ③ グループワーク	津島 礼司

(6) 指導及び監査

日 時	名 称	出席者名
R5 年 6 月 16 日	大阪市集団指導（オンライン指導）	津島 礼司

(7) 介護サービス情報の公表

指定調査機関	大阪市介護サービス情報公表センター
報告の提出期限	R5 年 10 月 27 日
訪問調査日	無し
公 表 日	R5 年 11 月 6 日

(8) 特定事業所集中減算状況

前期 (3 月～8 月)	摘 要	訪問介護	通所介護	福祉用具貸与
	事業所名	(社) 慈 福 会 ヘルパーステーション いこい	(社) 慈 福 会 デイサービスめぐみ デイサービスのぞみ	株式会社トーク 21 株式会社トーク 21
	紹介率	51.2 %	80.6 %	24.3 %
後期 (9 月～2 月)	摘 要	訪問介護	通所介護	福祉用具貸与
	事業所名	(社) 慈 福 会 ヘルパーステーション いこい	(社) 慈 福 会 デイサービスめぐみ デイサービスのぞみ	株式会社トーク 21 株式会社トーク 21
	紹介率	50.1 %	78.4 %	23.7 %

(9) まとめ

- ・担当ケアマネジャーの不在時でも、他のケアマネジャーで対応できるように情報共有し、利用者を支援できるように体制作りを行った。
- ・研修等の参加について、令和5年5月8日から新型コロナウイルスの位置付けが2類相当から5類感染症となったが、高齢者の重症化リスクは通常よりも高いため、世間の感染症流行状況を確認し、出欠の判断を行った。
- ・困難ケースの支援にあたっては、区役所、地域包括支援センター、ランチ、医療機関、その他事業所等の多職種と連携し支援を行うことができた。

事業報告書

(1) 令和 5 年度 年間目標と評価

目標	評価
安全な施設作りで無事故を目指す	無事故は達成できなかったが、職員の事故に対する意識を向上できるように終礼等で再確認している。
職員の定着と質の向上	職員の退職はなし。最低数の人員であるため特定の職員に負担は大きくなっていた。今後も介護職が楽しくなる雰囲気作りが必要と思われる。質の向上については、経験年数だけではなく新しい介護サービスを学ぶ機会が必要である。
利用者数の確保と維持	新規事業所への営業活動はできなかった。長期利用されておられる利用者様も超高齢となつて行かれている。事業所からの問い合わせやお試し利用についてはすぐに対応できるように心がけている
感染症の予防	常に感染予防を心がけるようにしているが、急な嘔吐等の体調不良時には予防できていないことが見られ、職員の意識向上が必要と思われた。フロア内は必ず定期的に換気は行えている。送迎車内の換気も意識できていた。

(2) デイサービス利用者月次推移状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比率
要支援1	24	24	36	26	30	23	16	18	16	15	17	17	262	5%
要支援2	15	17	8	12	20	29	14	15	12	16	14	18	190	4%
要介護1	32	34	30	30	31	25	47	39	47	52	38	35	440	9%
要介護2	117	121	121	142	136	157	142	121	124	107	116	133	1537	31%
要介護3	59	49	46	61	64	72	83	84	79	67	89	93	846	17%
要介護4	92	93	111	108	85	74	66	81	63	78	65	66	982	20%
要介護5	59	55	55	58	66	58	52	61	54	57	60	63	698	14%
日数	25	24	26	26	26	26	26	26	24	24	25	26	合計人数	4955
月平均	15.9	16.4	15.7	16.8	16.6	16.8	16.2	16.1	16.5	16.3	16.0	16.3	年間平均	16.3

		行事内容と評価	費用	担当者
4月	春のたこ焼き会	露店風にたこ焼きを焼いて提供する。好評であった。	¥5,653	永田
5月	ポツツチャのぞみ大会	皆が参加できるスポーツ「ポツツチャ」を初めて行い、楽しんだ。	¥8,381	永田
6月	わらびもち	手作りのわらび餅を提供し、季節を感じていただいた。	¥1,665	永田
7月	七夕工作	風鈴を自分で作り、玄関に飾る。おやつはメロンシャーベット好評	¥3,456	柴田
8月	壁面づくり(ひまわり)	のぞみ玄関の壁面に工作でひまわり作成。おやつはショコラケーキ提供し好評であった	¥5,024	柴田
9月	敬老会	自分で作成した紙相撲で大会を行った。おやつはどら焼き提供。盛り上がった	¥9,133	柴田
10月	かかし作り	のぞみ玄関の壁面に工作でかかしを作成。自身の携帯やカメラにて撮影されるほど好評であった。おやつはホクホクの焼き芋を荷台で提供。秋を感じていただけた。	¥5,282	柴田
11月	運動会	2チームに分かれ、多種ゲームを楽しんでいただく。大いに盛り上がる。おやつはのど越しのいいプリン提供。	¥4,305	柴田
12月	クリスマス会	のぞみ玄関の壁面に自作のツリーを飾る。その後のビンゴ大会では、近隣の寄付でのタオル等を選ばれる。おやつは大きなシュークリームで好評であった。	¥5,110	徐
1月	書初め	毎年恒例の書初め行う。その後は展示し楽しめる。おやつは羊羹	¥3,110	柴田、徐
2月	ぜんざい	職員が鬼に変装し新聞で作った豆で豆まきを楽しむ。職員手作りのぜんざい提供する。	¥4,456	柴田
3月	ひな人形工作	ひな人形を飾りつけし、工作にてひな人形を作成する。おやつは桃饅頭。	¥1,718	柴田
予算			合計費用	¥57,293

(4) 介護報酬・行事費用・おやつ代・その他の費用

	介護報酬	行事費用	おやつ代 その他
4月	¥3,043,919	¥5,653	¥7,620
5月	¥2,922,256	¥8,381	¥0
6月	¥2,972,328	¥1,665	¥8,552
7月	¥3,657,410	¥3,456	¥0
8月	¥3,114,226	¥5,024	¥6,027
9月	¥3,232,535	¥9,133	¥0
10月	¥3,415,185	¥5,282	¥8,414
11月	¥3,291,240	¥4,305	¥0
12月	¥3,111,292	¥5,110	¥0
1月	¥2,826,836	¥3,110	¥8,292
2月	¥3,221,539	¥4,456	¥0
3月		¥1,718	¥0
合計	¥34,808,766	¥57,293	¥38,905

(5) 職員外部研修受講状況

研修日	研修内容	受講者氏名
6月20日	令和5年介護事業所集団指導 高齢者虐待防止について	永田千佳
7月14日	認知症介護基礎研修eラーニング	前田 甚一
7月20日	認知症介護基礎研修eラーニング	尾崎健司
7月25日	認知症介護基礎研修eラーニング	山崎 良

研修日	研修内容	受講者氏名

(6) 職員状況(令和 年3月末現在)

職種	常勤	非常勤
管理者	永田 千佳(兼務)	
看護師		中村 裕美
生活相談員	永田千佳(兼務)	牧 道(兼務)
介護職員	徐 碩 柴田 かおる	牧 道 尾崎 建司 前田 甚一 山崎 良(10/13退職)
合計人数	名	名

(7) 水質検査結果報告

日付	委託業者名	検査結果
6月14日	中央微生物検査所	10cfu/100ml未満
12月13日	中央微生物検査所	10cfu/100ml未満
その他特記		

(8) ひやり・はっと・事故報告書

日付	内容	日付	内容
7月24日	フロアにて椅子からずり落ちた。		
8月8日	トイレでの排泄介助中、トイレトペーパーホルダーが壁から落下し		
8月19日	歩いて来所しデイルームに入った所で杖を倒し、拾おうとされよろけて転倒		
9月12日	浴後、一人でエレベーターを使用しフロアに戻られた		
9月15日	トイレ利用中に左眼打撲あり。転倒等がない為理由不明		
9月23日	入浴中、カラン前にて転倒。すぐ受診し、CT検査。異常なし		
10月13日	送迎中に対向車避ける際、駐車場の壁面に衝突。ウインカー部分破損		

(9) ボランティア・実習生状況

ボランティア			職場体験実習			
日付・曜日	氏名	内容	日付	実習部	学校名	氏名

令和5年度 社会福祉法人慈福会 事務局 事務報告

1、法人の概要 (沿革)

①平成9年11月1日	基本金1,000千円 運用資金94,983千円をもって法人設立委員会が設置された。
②平成9年11月15日	施設建設に向けて、準備委員会が設置された。 設立地を大阪市西成区千本北2丁目12番地2号として法人申請を届け出た。
③平成10年3月20日	大阪市より法人認可がされ、同23日設立した。
④平成10年5月16日	第1回法人理事会が開催された。 同日、デイサービス事業、グループホーム事業等の具体的な計画が示され、理事会で承認された。
⑤平成11年3月18日	成南地域の施設が竣工し「めぐみ」と命名された。
⑥平成11年3月25日	同 グループホーム「めぐみ苑」の入居が始まった。
⑦平成11年4月1日	同 デイサービス「めぐみ」が事業開始された。
⑧平成12年12月22日	2か所目の施設が天下茶屋地域で竣工し「のぞみ」と命名された。
⑨平成13年1月4日	同 デイサービス「のぞみ」が事業開始された。 同 在宅介護支援事業として配食サービスを開始した。
⑩平成14年4月1日	ヘルパーステーション「いこい」が事業開始された。
⑪平成22年10月21日	ヘルパーステーション「いこい」が天下茶屋地域へ引っ越した。
⑫平成26年12月1日	慈福会のホームページを開いた。

2、理事等の役員及び職員 (令和6年3月末現在)

理事長 浦上理恵

常務理事 山田愛子

理事 魚本利彦、倉知大、山田泰平、小泉和史、中井俊仁

監事 黒田全紀、原正一

評議員 中西時夫、森川博、児玉富士夫、松代いさ子、河嶋郁子、吉田玲子
林由香里、福本康行、

◎令和5年5月 理事会、評議員会開催

(事業報告、決算、理事・監事改選について、理事長および常務理事の選任)

◎令和6年3月 理事会、評議員会開催

(事業計画、予算の認定、経理、資金運用規程の認定、役員賠償責任保険の認定)

3、苦情解決規程に定める第三者委員

成南地域サービスステーション 中西 時夫 (千本地区民生児童委員長)

天下茶屋地域サービスステーション 井端 貞子 (聖天下1 南町会女性副部長)

4、職 員 構 成

施設長 2 名、所長 1 名、管理者 6 名、相談員 2 名

常勤職員 11 名、事務職員 1 名、非常勤職員 13 名、夜勤専従 9 名

資格別 介護福祉士 15 名、主任介護支援専門員 3 名、介護支援専門員 10 名、
看護師 9 名、准看護師 4 名、社会福祉士 3 名、サービス提供責任者 2 名、
社会福祉主事 1 名、ホームヘルパー 1 級 2 名、ホームヘルパー 2 級 16 名、
認知症介護基礎研修修了 3 名、シルバー人材センター 4 名

上記人数は職種兼務や複数資格取得者がいます。

職員合計 45 名

5、事務業務の概要

事務業務を総務、人事、庶務、経理に分化して事務効率の向上と専門性を高めたことにより、今年度も、提出書類の申請、保管書類、公文書管理等の合理性を継続して発揮することができました。

(介護職員処遇改善加算届)

◎平成 21 年度より、介護職員の処遇改善の取組として、平成 23 年度まで実施していた「介護職員処遇改善交付金」の相当分を介護報酬に円滑に移行するために、厚生労働省の方で経過的な取扱いとして、介護職員処遇改善加算を創設された。当法人は賃金改善等の実施を令和 5 年度も継続し処遇改善加算届を大阪市へ申請いたしました。

(総務関係)

◎労働保険確定申告・社会保険算定基礎届・年末調整及び給与支払報告・36 協定届
社会保険・労働保険各種給付申請、大阪市大阪府補助金申請等を行いました。

(施設管理関係)

◎年 2 回の消防訓練の実施・消防設備点検及び特殊建築物整備検査報告を行いました。

(経理関係)

◎経理事務管理については、引き続き日本経営に委託し、決算書類の制度化、簡素化に努めました。又、新会計基準に移行済みです。

まとめ

令和 5 年度も、様々な部署、個所で業務が円滑に遂行できるよう見直しや改善を進めてきました。

今後も、介護保険法改正に伴う就業体制の確立、ランニングコスト・設備改修等のインシヤルコストについて、財源の確保も含めて、計画的に、その準備を怠らないようにしたいと考えています。